



第2回玉川中学校区小中連携授業参観・情報交換会（11月17日）

小・中連携教育の一環として、小名浜三小で行われた第1回目続き、第2回目の小中連携授業参観・情報交換会を本校で行い、小名浜三小の先生方に授業や生徒の様子を見ていただきました。全体会では、校長より、学力日本一の秋田県の小中学校を視察した際の報告資料をもとに、「小中連携からできる学力向上」についての講話を行いました。その後、学力向上委員会、生徒指導委員会、体育・保健衛生委員会、特別支援委員会の4分科会に分かれて情報交換を行いました。子どもたちは、小学校当時お世話になった先生方に授業を参観していただき、緊張しながらも成長した姿を見せることができ喜んでいました。今回の情報交換で話し合ったことをもとに学力向上を基本に据え、小中で連携し義務教育9年間を見通したより良い教育を進めてまいります。



校内服務倫理委員会（11月20日）

校内服務倫理委員会を開催し、11月1日に福島県の県立高校長を集めて行われた福島県教育長訓示を本校職員全員で視聴し、不祥事防止の徹底を図りました。視聴前に校長より「交通事故防止、わいせつ・セクハラ、体罰、不適切発言、個人情報管理」について具体的に指導し、視聴後には、教頭より視聴の内容を受けて、「生徒との私的な連絡、密室での指導、不要な身体接触等」が絶対に起こらない学校風土形成について具体的に指導しました。

本校では、教職員の同僚性が高く、何か心配なことがあれば管理職に声が届く状況ができていますので、それを強みとして今後とも信頼される学校づくりを目指していききたいと思います。



放射線教育出前授業（11月24日）

3学年で、講師に石川哲夫先生をお迎えし放射線教育の出前授業を行いました。石川先生は、以前、明星大学の特任教授もしており、現在は、日本科学技術振興財団・文部科学省放射線教育推進事業専任講師を勤めており、放射線教育に精通した先生です。原発事故から12年が



経過したとはいえ、まだまだ、処理水の排出や廃炉、風評被害の問題など、これから社会に出て行く福島の子どもたちには、様々な課題と向き合って、正しい知識のもと自らの考えや情報を発信していく力が必要となってきます。その意味でも、本日の授業が将来に生きてくることを期待しています。



↑ 霧箱という装置を使い放射線を可視化しました。
 身近な物からも放射線が出ていることにビックリ！

いわき市未来の有権者育成モデル事業（11月29日）

いわき市選挙管理委員の方々を講師として招き、3年生で「未来の有権者育成モデル事業」を行いました。生徒たちは、講師の説明に耳を傾け、意見交換や体験活動など積極的に参加していました。市長選挙を模擬的に行い、本番の投票と同じように選挙体験を行いました。三年後18歳になって実際の投票に行く際に、この体験を思い出し政治を担う社会の一員としての責任を感じられることを期待します。

